

公民館を訪ねて

歴史と自然と生活が共存する日之出地区

— 住みたくなるまち、住み続けたいまち、日之出 —

日之出公民館

1 日之出地区の概要

日之出地区は福井市の東部に位置し、東は国道8号線、西はJR北陸線、南は旭・和田地区と隣接し、北方には、えちぜん鉄道勝山線が走っている。東西1.5km 南北1.5kmのコンパクトな地区である。

市街地でありながら一部に田園風景が残り、荒川をはじめ、古川・赤川・芝原用水などの川の流れも豊富で、緑に囲まれた公園も多く、静かで生活しやすい地区である。福井県立病院・福井市保健センター・福井市子ども急患センターなどの公共医療機関や開業医をはじめ介護施設も多く、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる環境にある。また、子ども歴史文化館などの文化施設や学校・幼稚園・保育園・児童館などの教育施設に恵まれ、スーパーマーケットやドラッグストア・コンビニも多く買い物にも便利な場所である。

「日之出」の名称は、かつて福井城下から四方に通じる7つの城門のうちの一つが外堀の東側にあり「日之出御門」と呼ばれたことに由来する。この日之出御門は枘型(小広場)を挟んで二重の門となり、これを「中島二つ門」と呼んだ。また、日之出地区には、永平寺に関わる歴史的な史跡や地名が残っているのも特徴である。平成29年9月1日現在、世帯数3,364戸、人口7,643人で、少子高齢化・人口減少が進んでいる。

2 日之出っ子は日本の宝

— 未来を担う子どもたちを育てよう! —

(1) まち探検ウォークラリー ～ お宝発見! ～

日之出地区には、永平寺に関わる歴史的な寺院や地区の名称の由来になった「日之出御門」や「中島常福坊の井」など、一般にはあまり知られていない史跡が数多く残っている。これらの埋もれた日之出の宝を掘り出し、記録に残して地域の誇りにしよう、日之出小児童によって組織された「ひのでっころぼ」を中心に、毎年10月に「まち探検ウォークラリー」を実施している。ひのでまちづくり協議会と青少年育成会が共催して、日之出小児童・教員・保護者と、まちづくり

地域連携部会員が参加している。日和観音・中島常福坊の井(四ツ井の井戸)・日之出御門跡・川上神社・仙寿院(お茶場)・秋葉神社を訪れたが、初めて知ったという人が多く、ウォークラリーの効果を確認できた。今後も続けて実施し、最終的には、「日之出の宝マップ」を作りたいと考えている。



(2) クリーン大作戦 ～みんなのまちを美しく～

例年春と秋の2回、通学路と小学校に隣接する公園の清掃活動を、青少年育成会・ひのでっころぼ・まちづくり協議会・地区団体の共催で、10年以上実施している。子どもたちに奉仕活動の意義と大切さを体験してもらい、ボランティア精神を培うことを目的に行っており、毎回多くの子どもたちが積極的に参加してくれている。

(3) 花いっぱい運動 ～ひまわりを植えよう～



毎年、各団体の協力を得てひまわりの植栽を行っている。種まきから水やりなどの日常管理まで、まちづくりふれあい部会が中心になって実施し、子どもたちも協力している。公民館の花壇を整備して何種類かの大型のひまわりを地植えしている。満開の頃には公民館の名物となり、地区の方々からも大変喜ばれている。

(4) 河川パトロール ～ 地域の川を学ぼう ～



まちづくり協議会の主催で、毎年 9 月に実施しており、日之出小学校の 5 年生児童が全員参加している。地

区を流れる、荒川・古川・赤川・芝原用水をパトロールして河川の歴史や役割を学ぶと共に、水質調査やごみ拾いも実施している。子どもたちは地域の環境学習として、総合的な学習の時間に活動のまとめを行い、事後の学習に生かしている。

3 郷土学習の推進

－ 日之出地区を知り、誇りを持とう！ －

市民憲章 5 の実践目標「わがまちふくい(日之出)まなんで知って誇りを持とう」の実践に重点を置き、毎年郷土学習の内容を工夫して取り組んでいる。歴史・産業・食生活・自然・政治・文化など、広範囲にわたって、偏りのないようバラエティに富んだ内容を企画して実施している。

(1) 食の大切さを学ぶ

近年、食育の重要性が叫ばれる中、本館でも郷土学習において食に関する様々な事業を行っている。

平成 27 年 6 月には、石塚左玄塾理事長の岩佐勢市氏を講師に招いて、食育の祖と言われる石塚左玄についての講演をいただき、改めて食の大切さや地産地消の大切さを学ぶことができた。

また、同年 11 月には、石塚左玄を学んだ後の実践



講座として、「野菜のチカラ」をテーマに講演会を開催した。野菜ソムリエとして活躍されている中島早苗氏を講師に招いて、

チョコで生野菜を美味しく食べる「チョコベジ」について楽しく学んだ。

そして、昨年 9 月に



は、オリーブオイルソムリエの中辻美紀氏を講師に招いて、オリーブオイルについての基礎から効能・美味しく食べる方法などについて学んだ。

(2) 地区内の施設を知る

～ 県陽子線がん治療センターの見学 ～

日之出地区にある福井県立病院には全国的にも数少ない陽子線がん治療センターがある。平成 28 年 7 月に、地区民として初めて施設の見学をし、講演をいただく機会を得ることができた。

普通では見ることができない陽子線発生装置や照射設備を見たり、担当技師の方から詳しく講義をいただいたりして、全国屈指の設備が日之出地区にあることに誇りを感じ、大変有意義な一日となった。



4 終わりに

現在地に日之出公民館が落成してから 20 年が経過している。完成当時は、田園の真ん中にポツンと建つような場所であったが、今では住宅や保育園、クリニックなどに囲まれて昔の面影を見ることはできない。それでも閑静な環境にあることに変わりはなく、日之出地区は、犯罪や交通事故も少なく、“安全安心なまち”を自負している。また、地区活性化に欠かせない人づくりも 50～60 代の年齢層が担い手となってきている。ひのでふれあいフェスタ(夏まつり・秋の文化祭)や防災訓練・クリーン大作戦・区民体育祭など、地区の行事への参加人数は年々増加傾向にあるが、引き続き人材の発掘・育成が重要な課題となる。

今後も、地域の宝であり将来を担う子どもたちの健全育成や、若い世代にとっても魅力のある行事への取組等に力を入れていきたい。

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに関わる事業が多く行われ、地域の皆様の、日之出の将来を担う子どもたちへの温かい愛情と大きな期待を感じることができます。

今後も、充実した公民館活動によって、安全安心で住みよいまち・日之出が、ますます活気ある地区になることをお祈りします。